



# 原子力防災は？



## 県や近隣市町村と連携して対処



〔岡田〕 東日本大震災の津波による福島原発事故で原子力発電の安全神話は崩れた。

島根原発から50〜60 kmに位置する大山町も無関心ではいられない。原子力防災をどう



太陽光発電のソーラーパネル

考え対処するか。

〔町長〕 大山町単独で解決できる問題ではない。県や国、近隣市町村と連携していきたい。

〔岡田〕 購入した放射能測定器の活用は、

〔町長〕 役場施設・各保育所・小中学校などで定期的に測定する。また、県のモニタリングポストの1カ所に役場大山支所が選ばれた。

〔岡田〕 日本のエネ

ルギー政策の中で、原子力発電の位置付けは。

〔町長〕 国民的な議論をふまえて検討されることを認識している。

〔岡田〕 自然エネルギー発電設備の公共施設への積極的な設置や、個人や民間への助成は。

〔町長〕 大山町太陽光発電システム等設置補助金で普及促進に努めている。



# 小中学校の教育は？



## 総合力が 必要

〔西尾〕 県の学力レベルは全国平均に比べてどうか。

また、大山町内各校の学力レベルは。

〔教育委員会〕 全国一斉学力テストで、鳥取県は小学校、中学校ともに全国平均を上回っている。

町内の各学校で異



ランニングで体力向上

なるが、平均すると県内の小学校平均よりやや高く、中学校平均よりやや低い。

〔西尾〕 学力向上への今後の具体的な取り組みは。

〔教育委員会〕 家庭学習の時間が全国平均を大きく下回っている。家庭とも連携をはかりながら、しっかりと学ぶ習慣

を定着させていく。

独自の学力調査も活用し、課題解決に向け取り組みを進めている。

〔西尾〕 体力・気力向上の取り組みの成果は。

〔教育委員会〕 新体力テストの結果、体力・運動能力は、県、全国平均と比較して高い状況にある。